

科目名：子どもの健康と安全		講義・ 演習	担当教員名： 友永粧子
			実務経験： 有
1年次	後期	1単位	選択 / 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育における保健的環境や援助について理解する。 ・保育における、衛生管理・事故防止・安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。 ・保育における感染症対策について具体的に理解する。 ・子どもの発達や状態等に即した適な対応について、具体的に理解する。 ・子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価について具体的に理解する。 			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団における保育環境の重要性を理解するために乳幼児の発達に沿っての病気・事故発生を知り、対応等を具体的に理解する。 ・事例を通し、環境整備の仕方、着眼点を具体的に知らせる。 ・保育指導計画に保健・食・アレルギー・等を加味し作成する事を知らせる。 ・事例を自己及び集団で検討し、対策を具体的に理解するようにする。 			
授業計画			
1	これからの授業方法について 保育所保育指針の養護「生命の保持」自覚する。		
2	家庭と集団と違いを知る。「集団での感染力の強さ」		
3	集団における保健的保育環境を考えてみよう。「視診の大切さを知る」		
4	保育所における健康及び安全の管理「発達に沿って学ぶ」(病気) 「病気予防と感染予防の対応について」		
5	同 上 (事故)「予防から怪我の対応について」		
6	同 上 (事故)「予防から怪我の対応について」		
7	同 上 (アレルギー)「調理から子どもが食するまでの対応」		
8	同 上 (災害対策)「避難訓練について(計画・実施)」		
9	「感染予防・事故予防を子どもたちに知らせる」には。(ペープサート作成)		
10	同 上		
11	応急手当と心肺蘇生法		
12	応急手当と心肺蘇生法		
13	3歳未満児の保健的保育環境と援助「ディリープログラムに沿って」一つずつ考えてみよう。		
14	「個別配慮を要する子どもへの対応について」		
15	まとめ 定期試験		
テキスト：子どもの健康と安全演習ノート			
参考書等 事例プリント等			
評価の方法 定期試験及び制作物提出・授業態度			